

展 開	付かせる。		
	4 これまでの学習を基に、差別の不合理さと、その中で生き抜いた人々の思いについて話し合う。 ＜視点3＞		【視点3】 厳しく差別された身分の人々が不合理な差別の中を、どのような思いで生きてきたかを理解する。
	(1) 資料3を読みながら、誇りをもって生きていると感じた部分に線を引く。	3	◆ 差別が当たり前だった時代に、堂々と自分の仕事を行った人々の強さやたくましさに気付けるよう助言する。
	(2) 資料を基に、不合理な差別の中で生き抜いた人々の生き方や思いについてグループで話し合い、まとめる。 ・ 差別への怒り ・ 差別に負けない心 ・ 生き抜く力 ・ 技術を高める	10	◆ 太鼓作りを担いながらも祭りへの参加を拒まれたことや、武士の命を守る鎧を作りながらも武士から支配・差別されたこと等から差別の理不尽さを捉えられるようにする。人々の生活を豊かにし、命を支える仕事を担っていた事実と差別の事実を比較しながら、人が人を差別することについて考え合うことができるようにする。 ・ 学習資料③「誇りをもって生きる」
(3) まとめたことを発表する。	7		
(4) 差別が260年続いたことについて考える。 ・ 人々はなぜ差別したのだろうか。 ・ 江戸時代のシステムをどのようにすればよかったか。	5	◆ この差別がこの後多くの人々を苦しめ、江戸時代が終わった後も様々な差別に反対する運動が起き、現在も続いていることを補足する。	
終 末	5 本時の学習についてまとめる。 不合理な差別の中、様々な仕事や役割で社会を支え、たくましく生き抜いた。	3	◆ 板書の中で、ポイントとなる言葉を確認しながら、学習をまとめる。
	6 本時の学習の振り返りを行う。 ※ 授業を通して感じたことや、これからどのような行動をとりたいかを書かせる。	7	◆ 被差別身分呼称について、この言葉を教科書に載せることで差別をなくせる子どもたちを育ててほしいという思いを丁寧に伝える。

【授業に当たっての留意点】

- 同和問題（部落問題）の歴史と授業のポイントについて
令和5年度版人権教育研修資料「なくそう差別 築こう明るい社会 様々な人権課題」p.17～24を参照する。
- 被差別身分呼称（賤称語）の取り扱いについて
令和6年度版人権教育研修資料「なくそう差別 築こう明るい社会 様々な人権課題」p.9～10を参照する。被差別身分呼称（賤称語）が教科書に掲載されている意味についての理解を深め、授業を展開するに当たっては、差別をなくすためにどうしたらよいかを考え合う授業になるよう留意する必要がある。学級や学年の実態に応じた柔軟な授業展開が求められる。